

●株式の状況

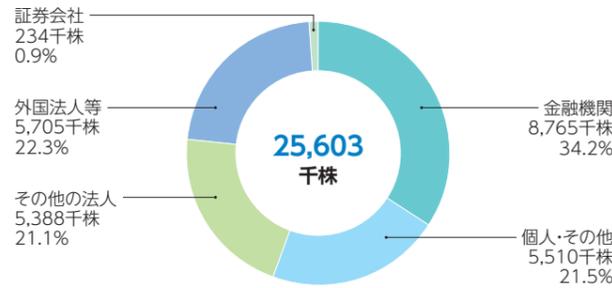
発行可能株式総数 108,000,000株
 発行済株式の総数 25,603,291株
 株主数 9,532名

●大株主 (上位10名)

株主名	所有株式数 (千株)	持株比率 (%)
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	3,072	12.59
株式会社日本カストディ銀行(信託口)	1,858	7.61
関西電力株式会社	1,460	5.98
株式会社三井住友銀行	1,085	4.45
三井住友信託銀行株式会社	658	2.70
ダイヘン取引先持株会	602	2.47
ダイヘングループ社員持株会	427	1.75
VICTORY TRIVALENT INTERNATIONAL SMALL-CAP FUND	362	1.48
岩谷産業株式会社	349	1.43
三井住友海上火災保険株式会社	263	1.08

(注)当社は1,186千株の自己株式を保有しておりますが、持株比率は当該自己株式を控除して計算しております。

●所有者別状況



株主メモ

事業年度 毎年4月1日から翌年3月31日まで
 定時株主総会 毎年6月開催
 基準日 定時株主総会 毎年3月31日
 期末配当金 毎年3月31日
 中間配当金 毎年9月30日
 その他必要があるときは、あらかじめ公告して定めた日

株主名簿管理人及び特別口座の口座管理機関 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社

株主名簿管理人事務取扱場所 大阪市中央区北浜四丁目5番33号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
 【郵便物送付先】〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
 【電話照会先】フリーダイヤル 0120-782-031
 受付時間 9:00~17:00(土日休日を除く)
 【インターネット ホームページURL】<https://www.smtb.jp/personal/procedure/agency/>

単元株式数 100株
 公告方法 当社のホームページに掲載いたします。
<https://www.daihen.co.jp/gaiyou/koukoku.htm>

上場取引所 東京、福岡の各証券取引所
 証券コード 6622

■株式に関する住所変更等のお届出及びご照会について

証券会社に口座を開設されている株主様はお取引の証券会社に、証券会社に口座を開設されていない株主様は上記の電話照会先にご連絡ください。

■特別口座について

株券電子化前に「ほふり」(株式会社証券保管振替機構)を利用されていなかった株主様には、株主名簿管理人である上記の三井住友信託銀行株式会社に口座(特別口座といいます。)を開設しております。特別口座についてのご照会及び住所変更等のお届けは、上記の電話照会先をお願いいたします。

第160期 報告書

2023年4月1日から2024年3月31日まで

株式に関する「マイナンバー制度」のご案内

市区町村から通知されたマイナンバーは、株式の税務関係のお手続きで必要となります。このため、株主様から、お取引のある証券会社等へマイナンバーをお届出いただく必要がございます。

株式関係業務におけるマイナンバーの利用

法令に定められたとおり、支払調書には株主様のマイナンバーを記載し、税務署へ提出いたします。

- 主な支払調書
- ・配当金に関する支払調書
 - ・単元未満株式の買取請求など株式の譲渡取引に関する支払調書

マイナンバーのお届出に関するお問い合わせ先

- 証券口座にて株式を管理されている株主様
お取引のある証券会社までお問い合わせください。
- 証券会社とお取引がない株主様
次の窓口へお問い合わせください。

三井住友信託銀行 証券代行部 フリーダイヤル
 受付時間 9:00~17:00(土日休日を除く) **0120-782-031**

独創的な製品で社会課題の解決に貢献する「研究開発型企业」を目指してまいります。

株主の皆様には、平素より格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。
ここに、ダイヘングループ第160期の報告書をお届けいたします。

代表取締役社長
袁毛 正一郎



事業の経過及びその成果

当連結会計年度のダイヘングループの事業環境は、半導体関連投資の調整局面が続く厳しい状況となりましたが、東北電機製造株式会社と四変テック株式会社を連結子会社化したことにより、売上高は前期と同水準の1,885億7千1百万円(前期比1.8%増)となりました。利益面におきましては、半導体関連機器の売上高減少の影響が大きく、営業利益は151億4千5百万円(前期比14億2千2百万円減)、経常利益は160億8千2百万円(前期比15億7千7百万円減)となりましたが、親会社株主に帰属する当期純利益につきましては、上記の子会社株式取得に伴う負のれん発生益等を計上したことにより、164億9千4百万円(前期比33億円増)となりました。

設備投資の状況

当連結会計年度の設備投資につきましては、半導体製造装置向け高周波電源システムの生産能力拡大のための工場増築及び生産・検査設備の増設に加え、生産自動化関連投資などに82億7千8百万円実施いたしました。

資金調達の状況

当連結会計年度の資金調達につきましては、経常的な運転資金は短期にて、設備資金やM&Aに要する資金は長期にて、それぞれ金融機関からの借入にて調達しております。

対処すべき課題

今後の見通しにつきましては、生成AIの需要増加等を背景とする半導体関連投資の回復や生産自動化・脱炭素関連投資が堅調に推移することが見込まれる一方、地政学的リスクに伴う物価上昇などが懸念されます。

このような事業環境の下、引き続きコスト削減の取り組みを推進し、社会課題の解決に資する開発投資に重点的に振り向けるとともに、新規連結子会社とのシナジー創出を図ることにより、各事業の強化、業績の向上に努めてまいります。

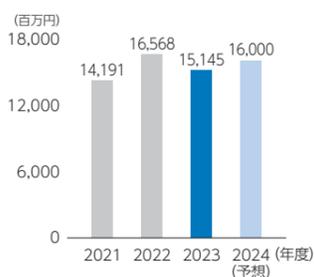
株主の皆様におかれましては、より一層のご理解・ご支援を賜りますようお願い申し上げます。

2024年6月

売上高・営業利益率



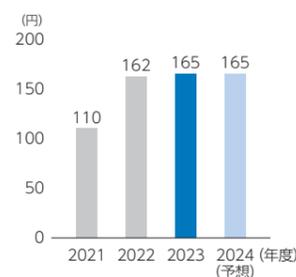
営業利益



親会社株主に帰属する当期純利益/1株当たり当期純利益



1株当たり配当金



セグメント別の状況

再生可能エネルギーの活用や電力系統管理の高度化に貢献する電力機器、工場全体の定みない自動化を実現する産業用ロボット、モノづくりの技術革新に必要な新プロセスを提供する溶接・接合機器やプラズマ発生用電源等、当社の製品は今日も社会のいたるところで使用され、人々の暮らしを支えています。

今後も社会課題の解決に資する製品創出を通じて、社会の持続的な発展に貢献していきます。

エネルギーマネジメント

売上構成比 **51.7%**

スマートコミュニティ・再生可能エネルギー・蓄電池等、多様化する分散化電源を制御・管理するシステムや機器を開発・提供するとともに、電力系統管理の高度化や電気自動車等、電力の新たな用途に資する技術を開発します。

ファクトリーオートメーション

売上構成比 **18.5%**

溶接ロボット・クリーン搬送ロボットで培った精度が高く機敏な動作特性を活かした当社独自のロボットを開発するとともに、当社が保有する独自技術を活用した各種センサや監視制御ソフト・周辺機器を組み合わせたフレキシブルで導入しやすいシステムを提供することで、工場全体の定みない自動化を実現します。

マテリアルプロセッシング

売上構成比 **29.7%**

プラズマ・レーザ・超音波・摩擦熱等のエネルギー源を高精度で制御することにより、金属・半導体・絶縁材料・樹脂材料等の精密な接合・切断・成膜・表面処理・造形等、モノづくりの技術革新に必要な新プロセスを提供します。

[営業概況]

配電機器や国内の工場受電設備の更新が総じて堅調に推移いたしましたことに加え、企業の脱炭素関連投資拡大を背景に太陽光発電自家消費パッケージやEV充電システムの販売が増加いたしました。また、東北電機製造株式会社と四変テック株式会社を連結対象に加えたこともあり、売上高は976億2百万円(前期比29.5%増)、営業利益は83億4千3百万円(前期比46億7千9百万円増)となりました。

[営業概況]

国内外での生産自動化やEV関連投資等は増加いたしました。中国での内需関連投資低迷の影響もあり、売上高は348億6千8百万円(前期比3.7%増)に留まりました。また、先行的な経費投入もあり、営業利益は41億3百万円(前期比2億1千9百万円減)となりました。

[営業概況]

国内の建築業界向けを中心に溶接・接合機器の販売は堅調に推移いたしました。スマートフォンやパソコンの需要減少を背景とする半導体メーカーの投資先送りの影響が大きく、売上高は559億3千7百万円(前期比26.6%減)となり、営業利益は63億2千4百万円(前期比60億4千7百万円減)となりました。



その他

売上高は1億8千5百万円、営業利益は2千8百万円となり、前期からの大きな変動はありません。

TOPICS 01 「2026年度中期計画」を策定

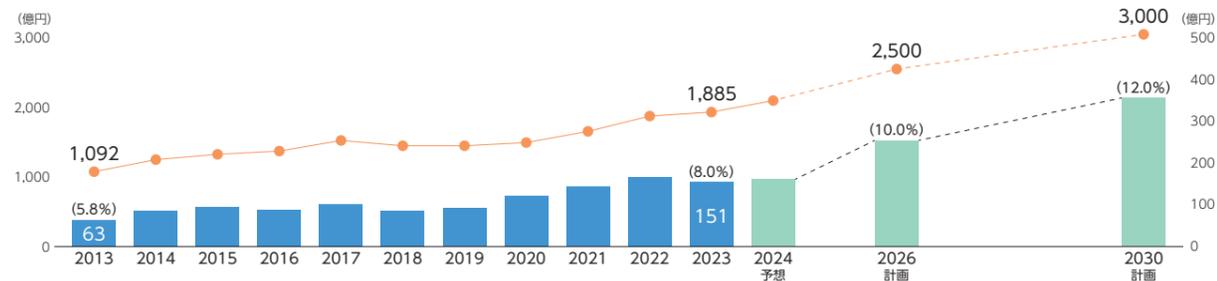
当社は、社会課題解決に積極的に貢献する「研究開発型企業」となることを目指し、次の4つの基本方針からなる2026年度中期計画を策定しました。

【基本方針】

- 1 社会課題解決に資する開発の領域拡大
- 2 代理店販売の革新と新領域の販売拡大
- 3 自動化追求と最適生産体制の構築
- 4 長期人材育成計画に基づく人的資本の充実

	2023年度実績	2026年度目標	2030年度目標
売上高	1,885億円	2,500億円以上	3,000億円以上
営業利益率	8.0%	10%以上	12%以上
R O E	13.3%	12%以上	12%以上
開発費率	4.1%	6%以上	6%以上
配当性向	24.5%	30%以上	30%以上

● 売上高 ■ 営業利益 () 営業利益率



社会課題解決に資する開発の領域拡大

「脱炭素社会の実現」、「労働力不足の解消」、「デジタル化の推進」の3つの社会課題解決を重点分野と定義して、既存事業の枠組みにとらわれず開発の領域を拡大させることにより、当該分野での貢献度を高めます。

脱炭素社会の実現

再生可能エネルギーの最大活用に役立つ系統用・自家消費用蓄電池システムやプラグイン・ワイヤレス充電システム、EV車体軽量化に役立つ接合機器はもとより、次世代マイクログリッド向けEMSや水素関連機器などを新たに手掛ける。

労働力不足の解消

従来自動化が困難であった多品種・少量生産に適したロボットシステムの拡充や協働ロボットの品揃え強化に加え、接合機器においても脱技能化を追求し、生産自動化への貢献範囲を広げる。

デジタル化の推進

EV化や生成AI普及を背景に加速度的な増加が予想される半導体生産工程の省電力化に役立つ高効率電源システムや製造装置の小型化に寄与する省スペースロボットに加え、チャンバクリーニング向けプラズマ源などの新領域を開拓する。

【主な開発テーマと売上高目標】

(単位：億円)

社会課題	主な開発テーマ	売上高目標			
		2024年度	2025年度	2026年度	2030年度
脱炭素社会の実現	次世代配電関連機器(直流配電等) 再エネ自家消費蓄電池システム 系統用蓄電池システム 充電インフラ機器・システム 大容量需要家向け受電システム EV軽量化対応接合機器	150	190	300	550
労働力不足の解消	多品種・少量生産に適したロボットシステム 協働ロボットの品揃え強化 脱技能化接合機器	60	90	150	250
デジタル化の推進	半導体製造装置向け省エネ電源 半導体製造装置向け省スペースロボット チャンバクリーニング向けプラズマ源	90	120	250	450
合計		300	400	700	1,250

TOPICS 02 「ユニット型パワーコンディショナ」を開発

再生可能エネルギーの普及に対応する電力系統の調整力として導入拡大が進む「系統用蓄電池」向けに業界初の「ユニット型パワーコンディショナ」を開発しました。

高電圧(1500V)対応により蓄電池設備・パワコン・変圧器などの機器設置台数を大幅に低減、従来比で約40%の設置面積を削減し「設置面積最小化」「コスト・手間の削減」など系統用蓄電池市場のあらゆるニーズに応えます。当社は本製品を各機器と組み合わせ一体化した「大容量蓄電池パッケージ」として販売強化を図ります。

また、「ユニット型パワーコンディショナ」を搭載した自家消費型太陽光発電向けの「蓄電池パッケージ」は、機器価格・設置面積を当社従来製品比で50%低減するとともに、工事コストも大幅に削減でき、経済産業省が2030年目標としているストレージパリティ(蓄電池導入による経済的メリット)を補助金なしで前倒し達成します。脱炭素化推進の流れを受けて自家消費市場も拡大傾向にあり、販売拡大が期待できます。



ユニット型
パワーコンディショナ

TOPICS 03 EV用180kW急速充電器「D-Rusher」販売開始

業界最高出力の180kWブースト機能を搭載したEV用急速充電器「D-Rusher」(ディー・ラッシャー)を販売開始しました。5分の充電で100kmの走行が可能な国内最速の充電速度に加え、独自の4プラグ仕様により、つなぎ替え作業なしでEV4台を連続充電可能です。

また、当社独自のエネルギー管理システム「Synergy Link」(シナジーリンク)搭載によりEV複数台運用時の充電集中で発生する電力ピークを抑制し、電気基本料金を最大50%削減します。

今後、法定電圧の上限規制緩和を見据え、更に高電圧(1000V級)に対応する400kWクラスの急速充電器の開発を進めます。



[D-Rusher]

TOPICS 04 「EVワイヤレス給電協議会」を設立

当社、関西電力、シナネン、三菱総合研究所、WiTricityの5社を幹事会社としてEV用ワイヤレス給電の実用化を目指す「EVワイヤレス給電協議会」を設立しました。充電器メーカー・自動車メーカー・省庁・大学・研究機関など幅広い分野の企業や団体を正会員・オブザーバとして迎え、産学官連携により制度化・標準化・事業化を推進します。



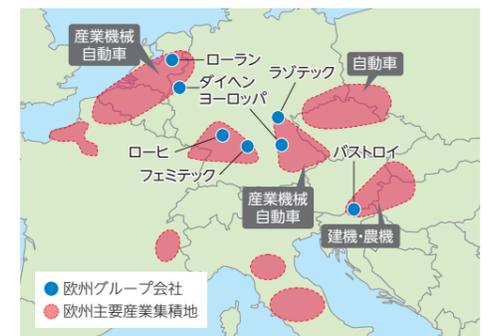
協議会ロゴ

TOPICS 05 欧州事業の拡大

当社は、2023年度にドイツ国内シェア2位の溶接機メーカーであるローヒ社、2024年4月にオランダのシステムインテグレータである「ローラン ロボティクス社」を買収しました。

今後、これらの会社を含めた欧州グループ6社が、それぞれの製品及び販売ルートを相互活用することにより、欧州でのビジネス拡大を加速させます。

2026年度には、欧州での溶接機器関連市場トップシェアとなる売上高260億円を目指します。

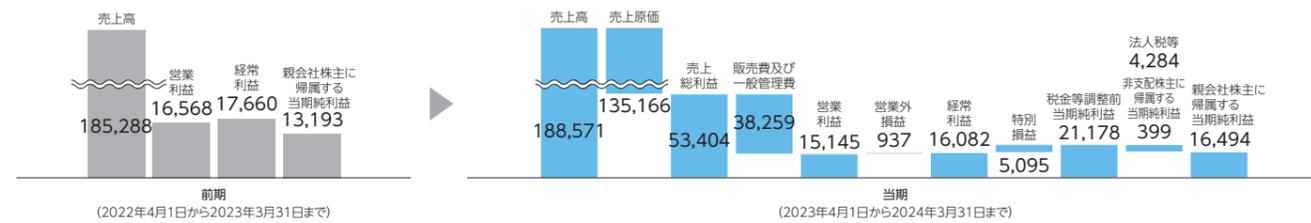


欧州グループ拠点

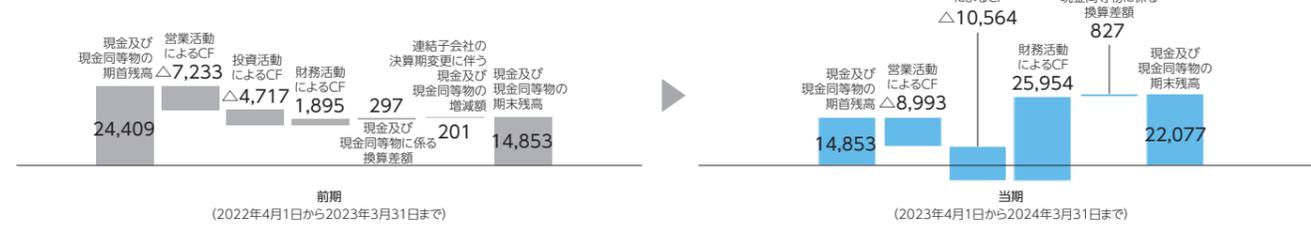
連結貸借対照表の概要 (百万円)



連結損益計算書の概要 (百万円)



連結キャッシュ・フロー計算書の概要 (百万円)



Column

ダイヘングループのリスクマネジメント

ダイヘングループでは「リスク管理委員会」を設置し、全社横断的なリスク管理体制を整備しています。品質・安全・情報セキュリティ・安全保障輸出管理・法令違反等のリスクに対しては、それぞれ所管する部門を幹事として規程の制定や委員会活動、教育を実施しています。その他にも、「危機対策規程」を制定し災害・事故等の緊急事態が発生した場合の対応・体制・行動等について明確にすることで、被害を最小限にとどめるよう努めています。



主要なリスク項目

「連結会社の財政状態」「経営成績」「キャッシュ・フロー状況」に重要な影響を与える可能性があるとして認識している主要なリスクは、以下の通りです。

- ① 需要変動について
- ② 販売・仕入れ価格の変動について
- ③ 海外事業について
- ④ 保有資産価値の変動について
- ⑤ 金利変動リスクについて
- ⑥ 大規模災害について

● 会社概要

商号 株式会社ダイヘン
(英文名) DAIHEN Corporation
設立 大正8年(1919年)12月1日
資本金 10,596百万円
従業員数 4,669名(連結)
本社 〒532-8512 大阪市淀川区田川2丁目1番11号
TEL(06)6301-1212(代表)
事業所・工場 十三事業所(大阪市淀川区)、六甲事業所(神戸市東灘区)、三重事業所(三重県多気町)、兼平工場(大阪市福島区)、千歳工場(北海道千歳市)
営業拠点 北海道支社、東北支社、東京支社、中部支社、中国支社、九州支社

● 役員 (2024年6月26日現在)

代表取締役会長 田尻 哲也
代表取締役社長 蓑毛 正一郎
取締役専務執行役員 加茂 和夫
取締役専務執行役員 森本 慶樹
取締役専務執行役員 木村 治久
取締役常務執行役員 金子 健太郎
取締役 安藤 圭一
取締役 馬越 恵美子
取締役 藤原 康文
常勤監査役 東海 一郎
常勤監査役 高橋 圭太郎
監査役 浦田 治男
監査役 吉田 正史
監査役 注連 浩行

● 関係会社 (2024年6月26日現在)

国内
四変テック株式会社
株式会社キューヘン
中国電機製造株式会社
東北電機製造株式会社
ダイヘン産業機器株式会社
ダイヘン青森株式会社
ダイヘンスタッド株式会社
ダイヘン電設機器株式会社
株式会社南電器製作所
ダイヘンテック株式会社
阪神溶接機材株式会社
ダイホク工業株式会社
ダイヘンビジネスサービス株式会社
株式会社ダイキ
ダイヘンエンジニアリング株式会社
株式会社ダイヘン厚生事業団
大一精工株式会社

海外
DAIHEN, Inc.
OTC DAIHEN EUROPE GmbH
OTC DAIHEN Asia Co., Ltd.
DAIHEN ELECTRIC Co., Ltd.
OTC DAIHEN Bangkok Co., Ltd.
DAIHEN Advanced Component, Inc.
牡丹江OTC溶接機有限公司
台湾OTC有限公司
OTC機電(上海)有限公司
DAIHEN KOREA Co., Ltd.
OTC機電(青島)有限公司
ダイヘンOTC機電(北京)有限公司
ダイヘン精密機械(常熟)有限公司
OTC DAIHEN INDIA Pvt. Ltd.
PT. OTC DAIHEN INDONESIA
DAIHEN VARSTROJ welding cutting and robotics d.d.
DAIHEN MEXICO S.A. de C.V.
LASotech Systems GmbH
Femitec GmbH
Lorch Schweißtechnik GmbH
Rolan Robotics B.V.

IRカレンダー



ホームページ案内

IR・決算情報はホームページで公開しています。

- トップページ <https://www.daihen.co.jp/>
- IRページ <https://www.daihen.co.jp/ir/>



株式会社ダイヘンYouTubeアカウント

ダイヘンの新製品・新技術などをご紹介します。

- 会社紹介 <https://www.youtube.com/watch?v=VpceqOSedlg>
- ロボットがロボットを作る工場 <https://www.youtube.com/watch?v=wEshCsqOLY>

